

四街道市の公共施設に関する
市民アンケート調査結果

概要版

平成27年12月

1. 調査実施方法

1.1 目的

四街道市公共施設等総合管理計画を策定するにあたって、公共施設利用状況、公共施設のあり方について市民の意向を把握するために市民アンケートを実施しました。

1.2 概要

- 調査の実施期間 2015年8月～9月
- 調査の対象 市民2000人（18歳以上の市民から無作為抽出）
- 調査票の配布・回収方法 郵送による配布回収方式
- 調査票の回収率 54.20%（回収1,084／配布2,000）

2. 調査結果の概要

2.1 回答者の概要

質問内容	回答数	結 果				合計
		男		女		
①男女別構成	1070	44% (473)		56% (597)		100%
②年齢別構成	1070	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	100%
		1% (4)	5% (54)	10% (107)	15% (161)	
		50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	
		13% (143)	25% (264)	23% (248)	8% (89)	
③居住地域別構成	1064	四街道中学校地区	四街道西中学校地区	旭中学校地区	四街道北中学校地区	100%
		24% (260)	23% (242)	18% (188)	18% (196)	
		千代田中学地区				
		17% (178)				
④職業別構成	1067	無職・専業主婦	会社員・公務員	パート・アルバイト	自営業・農業	100%
		46% (489)	24% (254)	17% (177)	6% (66)	
		学生	その他			
		2% (26)	5% (55)			
⑤家族構成	1068	親と子（2世代）	夫婦のみ	親と子と孫（3世代）	一人暮らし・単身	100%
		48% (509)	34% (362)	7% (79)	7% (78)	
		その他				
		4% (40)				
⑥居住期間	1080	30年～	20年～30年	10年～20年		100%
		48% (521)	20% (216)	18% (196)		
		5年～10年	1年～5年	0～1年		
		8% (81)	5% (57)	1% (9)		
⑦通勤・通学状況	1022	通勤・通学していない	市外に通勤・通学	市内に通勤・通学		100%
		55% (566)	32% (325)	13% (131)		
⑧地域活動参加状況	1077	たまに参加している	参加していない	ほとんど参加している	常に参加している	100%
		43% (460)	35% (379)	14% (148)	8% (90)	
⑨趣味などのサークルや団体加入状況	1074	加入していない		加入している		100%
		64% (683)		36% (391)		

2.2 公共施設の利用状況について

利用頻度①

問 1 - ① あなたは、下表に示す公共施設をどのくらい利用していますか。
対象施設ごとに「①利用頻度」から一つ選び、番号に○をつけてください。

- よく利用している(週一回以上)
 たまに利用している(月数回程度)
 ごくたまに利用している(年数回)
 過去に利用したことがある
 利用したことがない

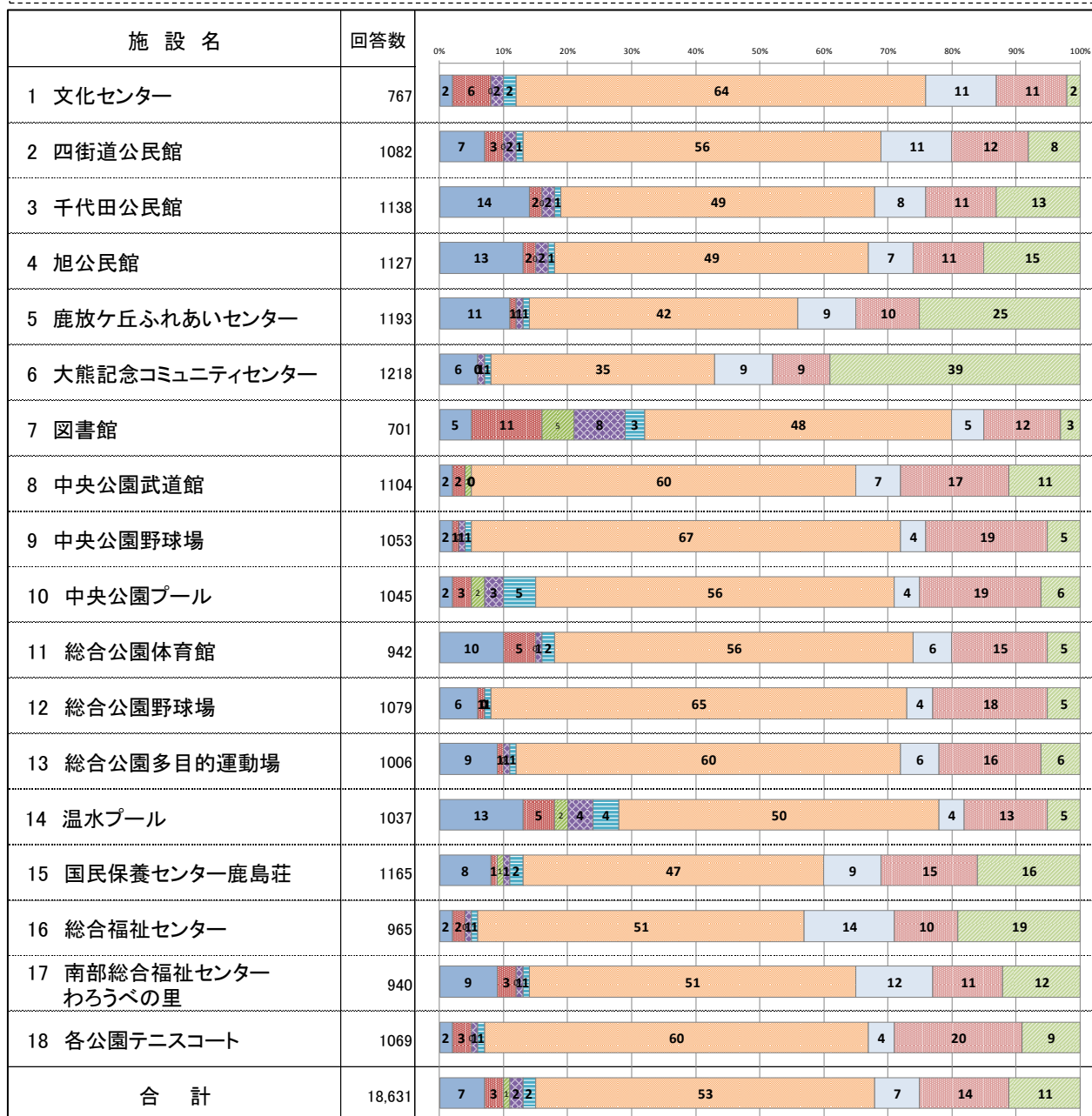
施設名	回答数	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
1 文化センター	1031	1	6	30	42	21						
2 四街道公民館	1007	2	6	4	25	63						
3 千代田公民館	1004	2	5	5	14	74						
4 旭公民館	990	2	4	5	16	73						
5 鹿放ヶ丘ふれあいセンター	987	1	3	2	9	85						
6 大熊記念コミュニティセンター	981	0	2	1	2	95						
7 図書館	1019	5	15	20	31	29						
8 中央公園武道館	993	0	2	1	7	90						
9 中央公園野球場	993	1	2	3	10	84						
10 中央公園プール	994	1	3	4	25	67						
11 総合公園体育館	998	3	5	10	24	58						
12 総合公園野球場	985	0	3	1	7	89						
13 総合公園多目的運動場	994	1	4	7	19	69						
14 温水プール	1004	1	3	6	33	57						
15 国民保養センター鹿島荘	998	1	2	2	11	84						
16 総合福祉センター	1002	3	5	10	12	70						
17 南部総合福祉センター わろうべの里	1001	3	7	13	19	58						
18 各公園テニスコート	996	1	3	1	9	86						
合計	17,977	2	4	7	18	69						

- 全般的に施設の利用頻度は少ない中で、比較的多く利用されている施設は文化センター、図書館となっています。
- 18施設の内、「よく利用している」が5%を超える施設は図書館のみとなっています。
- 次に「よく利用している」と「たまに利用している」が10%を超える施設は図書館、南部総合福祉センターわろうべの里であり、他の施設と比較しては利用頻度が高くなっています。

利用頻度②

「問1-①利用頻度」で「過去に利用したことがある」又は、「利用したことがない」を選択した場合は、「②利用しない理由」よりその理由を選んで、番号に○をつけてください。（複数可）

- 場所が不便で行きにくい
■ 利用できる時間が合わない
■ 設備に不満があるため
- 他市の類似施設を利用するため
■ 民間の類似施設を利用するため
■ 利用する機会や必要性がないため
- サービスの内容を知らないため
■ 利用したいと思わないため
■ 施設の存在自体を知らない



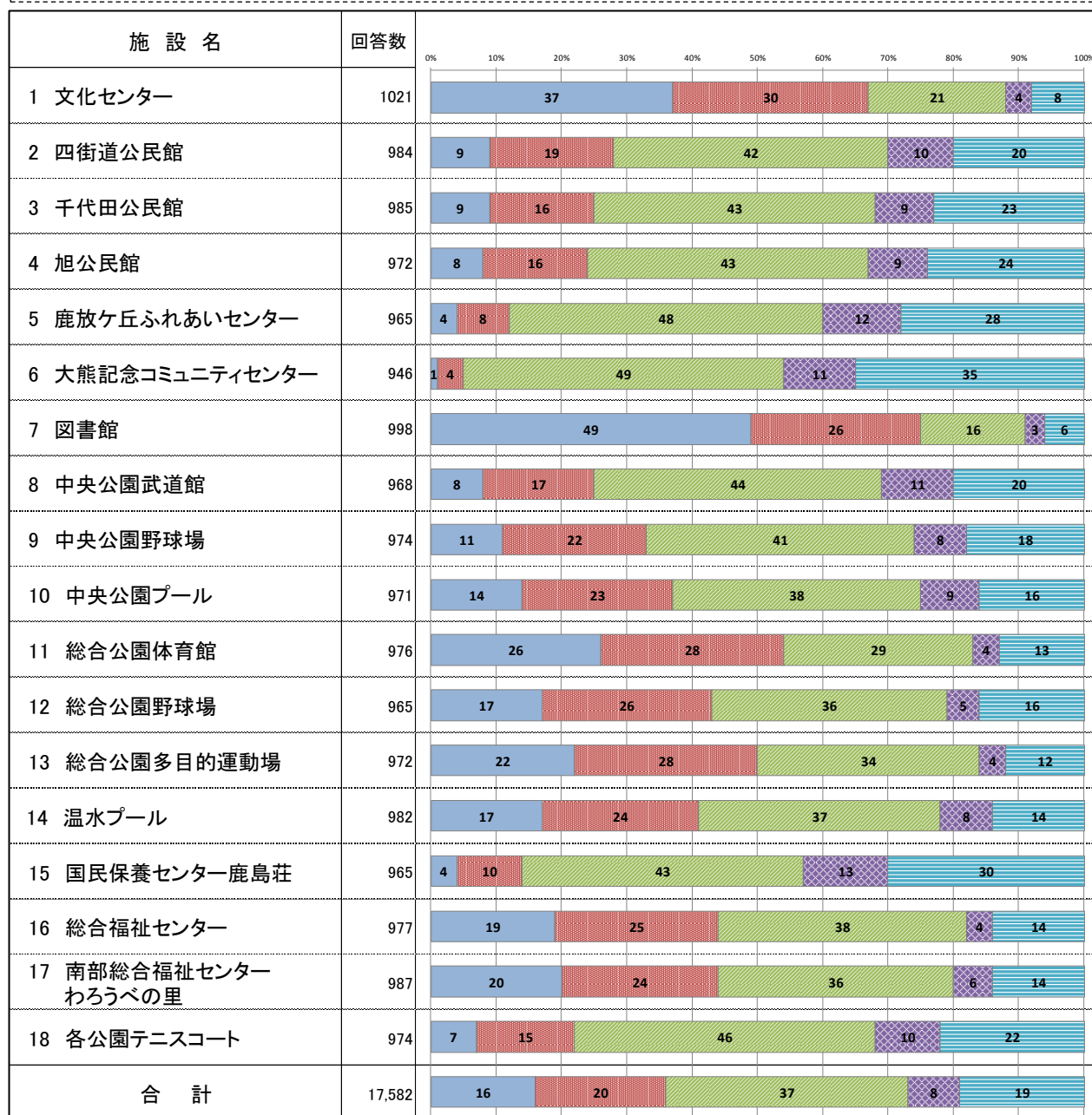
- 全般的に利用しない理由は、「利用する機会や必要性がない」が多くを占めています。
- 大熊記念コミュニティセンターは、「施設の存在自体を知らない」が39%であり全施設中最も多くなっています。

2.3 今後の公共施設のあり方について

存続に対する優先度

問3-① あなたは、四街道市が将来にわたって、公共施設を存続していくにあたり、それぞれの施設の優先度（高い・低い）をどのように考えますか。下表の施設ごとに、あなたの考えに近いものを一つ選び、番号に○をつけてください。

■ 優先度が高い ■ どちらかというと優先度が高い ▨ どちらともいえない
 ▩ どちらかというと優先度が低い ■ 優先度が低い

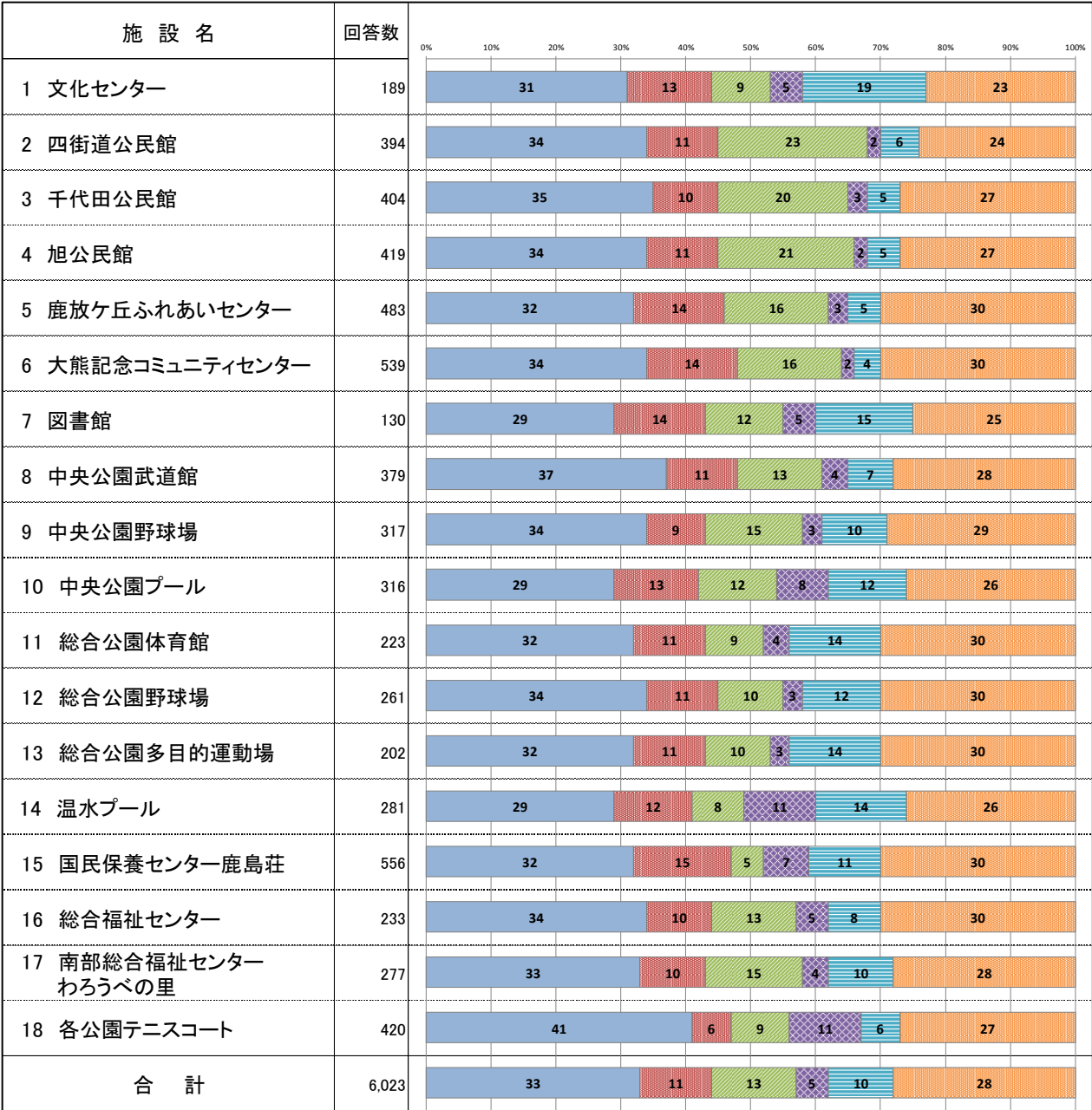


- ・「優先度が高い」と「どちらかというと優先度が高い」の比率の和が5割を超える施設は、文化センター、図書館、総合公園体育館、総合公園多目的運動場の4施設となっています。

存続に対する優先度が低い理由

問3-② 「問3-①」で「どちらかという優先度が低い」又は「優先度が低い」を選ばれた場合は、「②優先度が低い理由」より、その理由を二つまで選び、番号に○をつけてください。

- 一部の人にしか使われていなさそうだから
- 利用者が少なそうだから
- 他の施設に統合できそうだから
- 民間に類似施設がありそうだから
- 管理・運営に要する費用が高そうだから
- なくても支障がなさそうだから



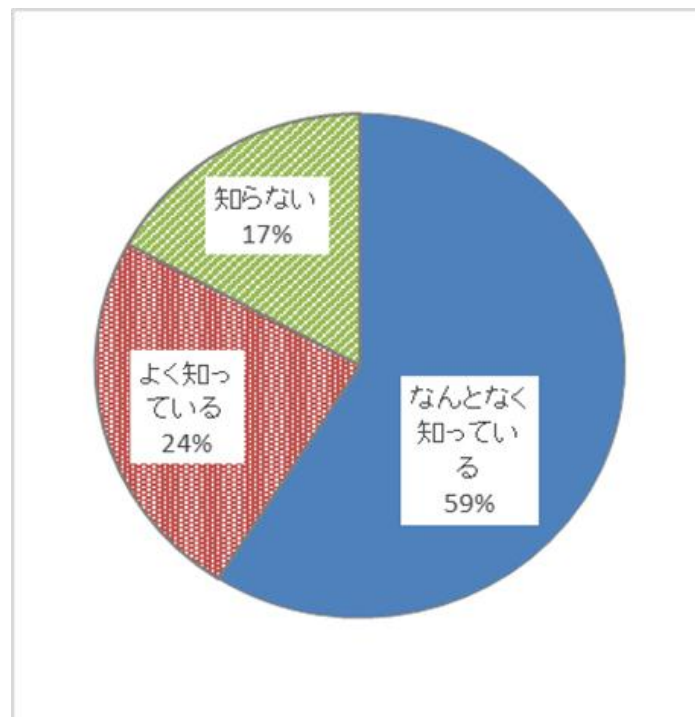
• 全ての施設で「一部の人にしか使われていなさそうだから」が約3割以上を占め、「なくても支障がなさそうだから」を合わせると5割を超えています。

2.4 公共施設の維持管理・運営の取り組みについて

維持管理が厳しくなる全国的傾向への認識

問4 市の公共施設は、昭和40年代から50年代に建てられたものが多く、老朽化とともに、近い将来一斉に建替えなどを実施しなければならない時期を迎えます。一方で、少子高齢化の影響などから財政状況は厳しさを増し、今あるすべての公共施設や機能を維持し続けることが難しくなる見込みです。こうしたことは、全国的な傾向ですが、あなたは、このような状況をご存じでしたか。以下の中から、一つ選び、番号に○をつけてください。

回答数 1029



- 市の公共施設の維持が困難な状況については「なんとなく知っている」が最も多く59%、次いで「よく知っている」が24%となっており、なにかしら認識している人が8割以上を占めています。

総合的、長期的な保全・活用の方策

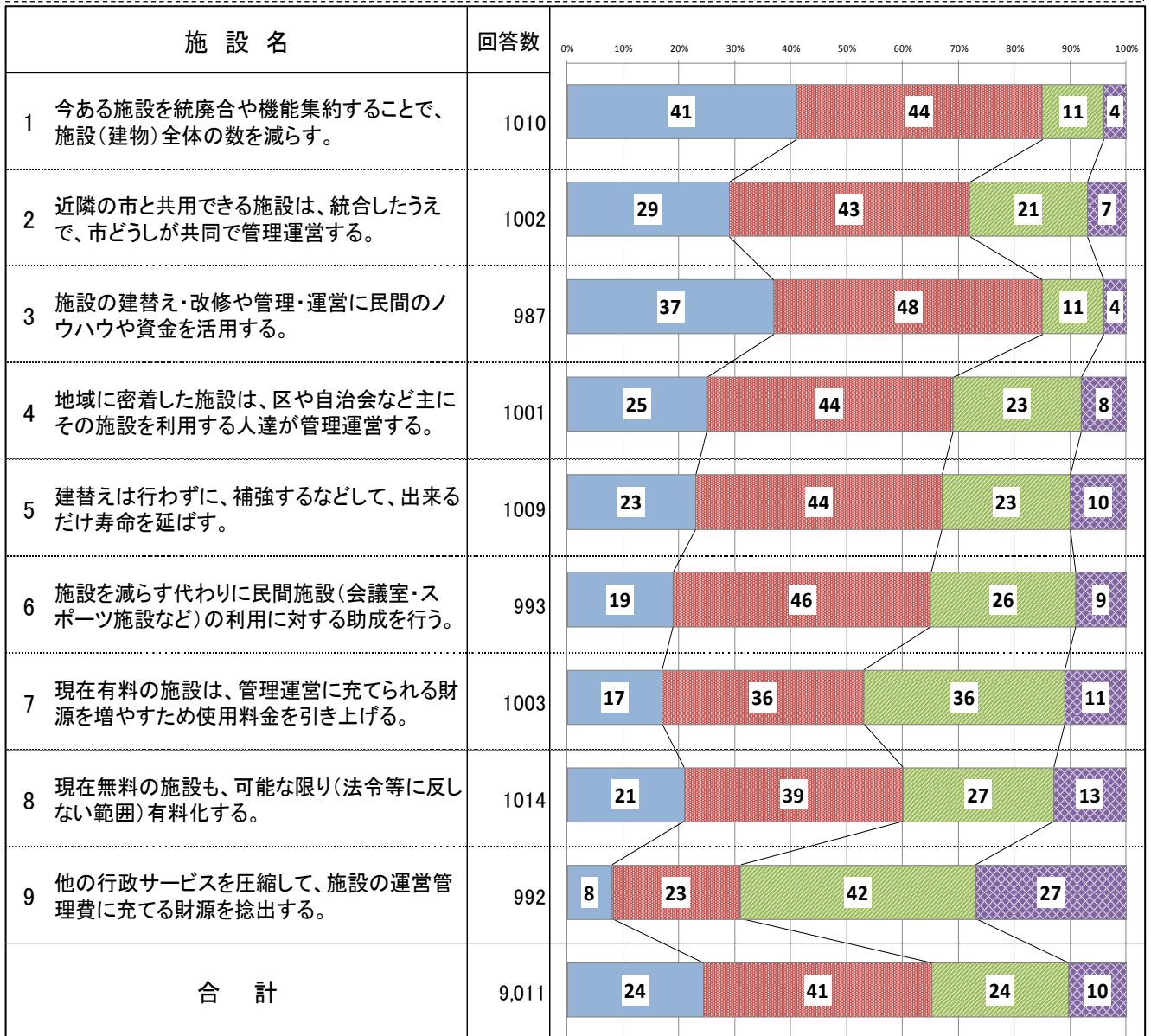
問5 将来も安全で使いやすい施設を提供していくためには、公共施設の総合的、長期的な保全・活用の方策を検討していく必要があります。下表の方策はその一例ですが、あなたは、各方策についてどのように考えますか。それぞれの方策ごとに、あなたの考えに近いもの一つを選び、番号に○をつけてください。

■ 積極的に実施すべき

■ どちらかといえば実施すべき

■ どちらかといえば実施すべきではない

■ 実施すべきではない

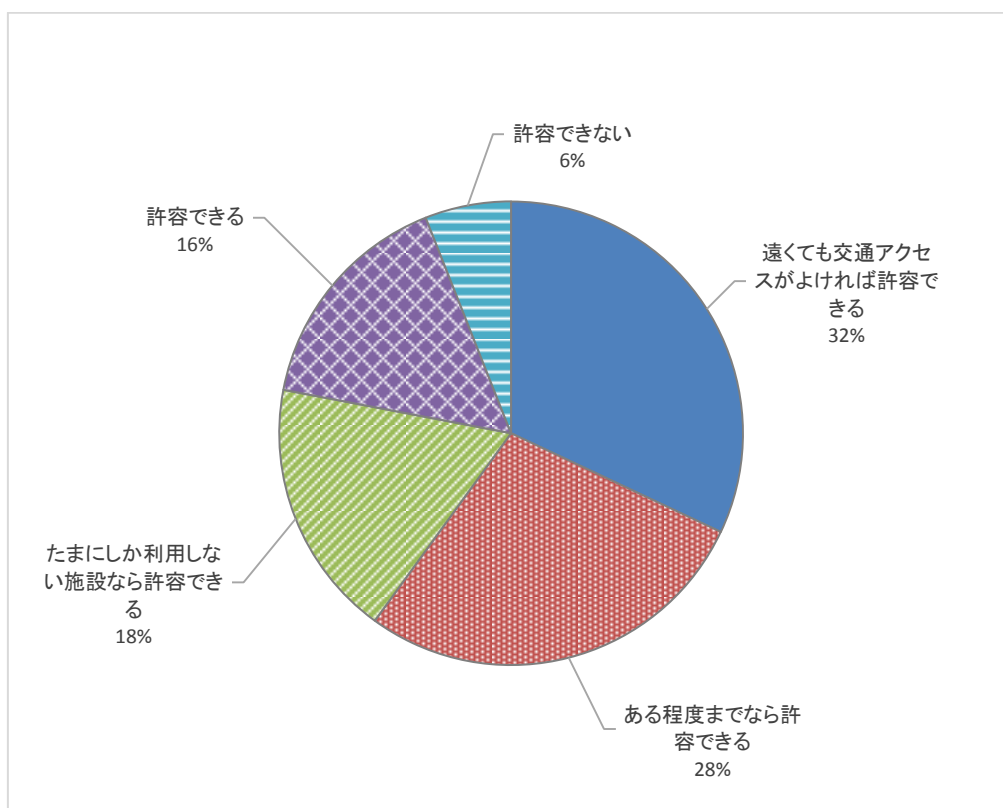


- 施設の統廃合、民間活用については8割以上の方が実施すべきと考えています。
- 他市との共同運営、利用者管理、施設の寿命を延ばす、民間施設への利用助成については7割程度の方が実施すべきと考えています。
- 「他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する。」については、「どちらかといえば実施すべきではない」と「実施すべきではない」が6割を超え、多くの方が実施しない方が良いと考えていることが分かります。

統廃合により、利用施設が遠くなることに対する許容について

問6 今後、もし公共施設の統廃合を行った場合は、現在より公共施設までの距離が遠くなることも考えられます。その場合、あなたは許容できますか。以下の中から、あなたの考えに近いものを一つ選び、番号に○をつけてください。

回答数 1034



- 「遠くても交通アクセスがよければ許容できる」が32%で最も多くを占め、次いで「ある程度までなら許容できる」が28%と比較的多くなっています。